

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-202	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅡ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
2 東書	C II 7 0 1	All Aboard! English Communication II		

1. 編修の基本方針

国際社会を生き抜く日本人を育成するために、以下のことに留意しています。

- ① 中学校までに学んだ英語に十分習熟していない生徒を主な対象としているので、基礎・基本からの導入について格別な配慮をすること
- ② 生徒の学習意欲を喚起し、「読みたい」「考えたい」と思う題材を取り上げること
- ③ コミュニケーションを図る資質・能力を育成するために、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能（5領域）の活動をバランスよく取り上げ、統合的に扱えるようにすること
- ④ 文法・読解にかたよらず、日常的・実践的なコミュニケーションの指導ができるように、無理のない手順や配列を工夫すること

基本方針

1

学習負担の少ない構成

- ・ 英語学習の基礎・基本の導入と学習への動機づけを図るため、本課Lessonの前にPre-Lessonを配置しています。Pre-Lessonでは、生徒にとって身近な「今年やってみたいこと」を話題にして英語学習への導入を図ります。
- ・ 各Lessonで学習する文法事項を1つに絞っています。該当の文法事項を様々な形式で繰り返し学習できるようにしています。
- ・ ほとんどのLessonにおいて本文は見開きで完結します。また、学習の流れが一目で理解できるレイアウトを工夫しており、前時の復習がしやすくなっています。
- ・ コミュニケーション活動では細かいステップを設定することにより、学習目標に到達しやすい配慮をしています。

基本方針

2

指導の流れが見えやすいLesson構成

- ・ 教師と生徒が学習目標を共有するために、Lessonのテーマについてのコミュニケーション活動に関連した学習目標、および文法事項の機能を重視した目標を扉ページに提示しています。
- ・ 本文の各パートに内容理解の活動を手厚く配しました。

- ・ Lessonの本文に続くページを、「本文の復習 (Review)」「コミュニケーション活動 (Activity)」「文法事項 (Grammar)」の3つのコーナーに分けて充実させることで、多様な指導スタイルに対応できる構成にしています。

基本方針

3

学習意欲を喚起する題材

- ・ 生徒が「読みたい」「考えたい」と思うような題材を用意しています。
- ・ 各Lessonに「Activity」を配置し、本文のテーマについてのコミュニケーション活動ができるようにしており、4技能 (5領域) の統合を図ることができます。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所の例
Lesson / Reading	<ul style="list-style-type: none"> ①各 Lesson で取り上げた題材を通して、異文化の発想や考え方を知り、幅広い知識と教養を身に付けます。(第1号) ②Reading では生徒の心情に訴えるような題材を取り上げ、豊かな情操と道徳心を培うように配慮しています。(第1号) ③各 Lesson の Activity などでの自分の意見を述べる活動を豊富に設け、個人の価値を尊重し、豊かな自己表現の力を伸ばせるように配慮しています。(第2号) ④献身的に医療環境の改善に努めたナイチンゲールの活動を取り上げ、勤労を重んじる態度を養います。(第2号) ⑤結果を顧みず、世界や仲間のために行動するハチドリの物語を通して、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。(第3号) ⑥地域の特産物の生産継続に貢献するために活動する高校生を取り上げ、主体的に物事を考える態度を養います。(第3号) ⑦男性、女性をバランスよく取り上げ、男女どちらも社会に参画している姿を示しています。(第3号) ⑧世界中で壁画を描くプロジェクトを実行するアーティストの姿を通して、公共の精神に基づき、主体的に社会に参画する態度を養います。(第3号) ⑨動植物がもつ特性を製品の構造に取り入れるバイオミクリーの技術を取り上げ、生命を尊び、自然を大切にすることを養います。(第4号) ⑩自然豊かな日本の世界遺産を取り上げ、環境の保全を自分ごととして考える態度を養います。(第4号) ⑪歌舞伎について読み、我が国の伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできたわが国と郷土を愛し、外国に向けて発信す 	<ul style="list-style-type: none"> ①Lesson 1, Lesson 2, Lesson 3 ②Reading 1, Reading 2 など ③各 Lesson の Activity ④Lesson 10 ⑤Lesson 4 ⑥Lesson 6 ⑦全体 ⑧Lesson 7 ⑨Lesson 8 ⑩p.52 ⑪Lesson 5

	<p>る力を養います。(第5号)</p> <p>⑫ チョコレートがカカオから作られる過程をたどり、現地農園が苦勞する現実と改善に向けた企業の取り組みを知り、国際社会の平和について自分ごととして考える態度を促します。(第5号)</p>	⑫ Lesson 9
コラム類	<p>① 英語の基本的な文構造や発音などの学習を通して、日本語とは異なる特色に気づき、理解しようとする態度を養います。(第1号)</p> <p>② Communication コーナーでは、実際の言語の使用場面や働きを踏まえたコミュニケーション活動を行い、実生活に生かすことができます。(第2号)</p>	<p>① p.19 など</p> <p>② p.46 など</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

観点	留意点	具体例
① 教育基本法の遵守	<p>① この教科書では、国際社会を生き抜く日本人を育成するために、英語力の基礎を確実に身につけ、その英語力で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養おうとすることを目指しています。</p> <p>② 世界に日本のよさを発信できる生徒を育成するために、伝統や文化に関する題材を取り上げています。</p>	<p>① 全体</p> <p>② Lesson 5 など</p>
② 学習指導要領の遵守	<p>① Lesson の学習が進むに従って、生徒の積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育成されていくように、題材や学習内容が選択・配列されています。</p> <p>② 生徒が自分の言葉として英語を使うコミュニケーション活動を豊富に用意することで、情報や考えなどを理解したり適切に伝えたりする基礎的な力を養います。</p>	<p>① 全 Lesson</p> <p>② 全 Lesson</p>
③ 内容・配列・分量	<p>① 言語材料や題材内容など各面にわたって、既習事項を新たな学習内容に関連させながらゆるやかに難易度を上げているため、無理なく英語力を養成できます。</p> <p>② 各 Lesson は、写真資料などからの導入、理解、復習、コミュニケーション活動の順に構成されており、効率的に学習できるように配慮されています。</p> <p>③ 取り上げる新出文構造・文法事項は「1 レッスン 1 ターゲット」とポイントが絞られており、基礎的・基本的な事項が確実におさえられます。</p>	<p>① 全 Lesson</p> <p>② 全 Lesson</p> <p>③ 全 Lesson</p>
④ 評価 (CAN-DO)	<p>① 各 Lesson の第 1 ページの Lesson Goal (題材のテーマに関連した学習目標) を受けて、Activity では言語活動を通して、</p>	① 全 Lesson

	<p>その Lesson における目標の到達度を確認することができます。</p> <p>②文法事項については、各 Lesson の第 1 ページの Target の目標に対して、Exercise B の言語活動を通して、その Lesson における目標の到達度を確認することができます。</p>	②全 Lesson
⑤英語で授業を行うための配慮	<p>①Lesson の導入として英語を聞いてからその内容について英問英答を行う Quick Question!、本文の内容把握を英問英答で行う Questions、本文全体の要約を完成させて音読する Summary など、生徒が英語でアウトプットする活動を充実させています。</p> <p>②本文の概要把握を英語のリスニングで行う True or False?、イラストと英語の音声のみで本文の復習を行う Listening、英語を聞いてダイアログを完成させペアでやりとりする Activity の前半 Step など、英語の音声を聞いて内容把握やペアワークを行う活動を充実させています。</p>	①全 Lesson ②全 Lesson
⑥英語コミュニケーション I との関連	① it の用法や関係副詞など、英語コミュニケーション I では発展項目として軽く扱った文法事項を Lesson の Target として取り上げ、再度学習する機会を設けています。	①Lesson 3, Lesson 7
⑦伝統・文化の取り上げ方	①日本の伝統・文化に関する話題を取り上げ、我が国の伝統・文化への意識を高め世界に発信できるようにしています。	①Lesson 5
⑧自然科学の取り上げ方	①英語科にふさわしい意味のある切り口で取り上げられるよう、特殊な語彙や表現による負担に配慮して、題材選定をしています。	① Lesson 4, Lesson 8 など
⑨家庭学習・自学自習への配慮	<p>①Word Box 1～5 を設け、辞書を引かずに自学自習ができるように、語彙をまとめて掲載しています。</p> <p>②二次元コードを使って、家庭でも本文や単語の音声を聞くことができます。</p>	①Word Box1～5 ②二次元コード
⑩文字・印刷・製本	<p>①活字は鮮明で美しく、写真、イラストなども鮮明です。</p> <p>②製本は堅牢で、開きやすい様式です。</p> <p>③ユニバーサルデザインの視点から図やグラフの色使いなど、色覚特性への配慮をしています。</p>	①全体 ②全体 ③全体

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-202	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅡ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	CⅡ701	All Aboard! English CommunicationⅡ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- 英語の基礎・基本を確実に学習できる。
- 「読みたい」「考えたい」という生徒の学習意欲を喚起する。

1 学習負担の少ない構成

- ・英語学習の基礎・基本の導入と学習への動機づけを図るため、本課 Lesson の前に Pre-Lesson を配置しています。Pre-Lesson では、生徒にとって身近な「今年やってみたいこと」を話題にして英語学習への導入を図ります。
- ・各 Lesson で学習する文法事項を1つに絞っています。該当の文法事項を様々な形式で繰り返し学習できるようにしています。
- ・ほとんどの Lesson において本文は見開きで完結します。また、学習の流れが一目で理解できるレイアウトを工夫しており、前時の復習がしやすくなっています。
- ・コミュニケーション活動では細かいステップを設定することにより、学習目標に到達しやすい配慮をしています。

2 指導の流れが見えやすい Lesson 構成

- ・教師と生徒が学習目標を共有するために、Lesson のテーマについてのコミュニケーション活動に関連した学習目標、および文法事項の機能を重視した目標を扉ページに提示しています。
- ・本文の各パートごとに内容理解の活動を手厚く配しました。
- ・Lesson の本文に続くページを、「本文の復習 (Review)」「コミュニケーション活動 (Activity)」「文法事項 (Grammar)」の3つのコーナーに分けて充実させることで、多様な指導スタイルに対応できる構成にしています。

3 学習意欲を喚起する題材

- ・生徒が「読みたい」「考えたい」と思うような題材を用意しています。
- ・各 Lesson に「Activity」を配置し、本文のテーマについてのコミュニケーション活動ができるようにしており、4技能 (5領域) の統合を図ることができます。

題材一覧

Lesson	タイトル	ジャンル	言語材料	語数
Pre-Lesson	My Plans for This Year			84
Lesson 1	A Colorful Island	異文化理解	関係代名詞 what	143
	色鮮やかな家々が美しいイタリアのブラーノ島を訪れた純が SNS で旅行の報告をします。			
Lesson 2	With the Beatles	音楽, 文化	比較表現	153
	ビートルズの歌をリクエストするリスナーとディスクジョッキーのやり取りです。			
Lesson 3	Wild Men	風習, 文化	it の用法	176
	ヨーロッパの祭りでよく見られる「ワイルドマン」の由来や, 日本のナマハゲとの共通点を紹介します。			
Lesson 4	Little Hero	自然, 動物	間接疑問文	169
	世界一小さな鳥「ハチドリ」の生態と, ハチドリの奮闘を描いたカナダ先住民族に伝わる物語を読みます。			
Lesson 5	Special Makeup in Kabuki	伝統文化	to 不定詞を含む表現	229
	日本の伝統文化である歌舞伎の歴史や, 隈取の色が表す意味について紹介します。			
Lesson 6	Seeds for Future Generations	高校生, 地域社会	動詞の目的語になる if 節	259
	京野菜の保存と普及を目指して設立された京都府立桂高校の京野菜クラブの活動を, 部員たちがウェブ上で発表します。			
Lesson 7	Over the Wall	人物, 国際交流	関係副詞	258
	世界中で壁画を描く Over the Wall プロジェクトを通して, 人々に幸せを届けるミヤザキケンスケさんが, 自身の活動を紹介します。			
Lesson 8	Inspiration from Nature	自然, 科学技術	知覚動詞	266
	自然界のデザインをヒントに開発されたバイオミミクリーの製品の中からモルフオチョウ, ヤモリ, ハスの葉の例を紹介します。			
Lesson 9	The Bitter Truth behind Chocolate	食べ物, 社会問題	使役動詞	324
	チョコレートの原料となるカカオ豆の原産国で起きている児童労働の問題と, ひとつの解決策であるビントウバーチョコレートの開発について読みます。			
Lesson 10	Fighting Angel	人物, 職業	分詞構文	338
	クリミア戦争中, 戦地の劣悪な病院の環境改善に尽力し, 統計やグラフで根拠を示して医療現場に変革をもたらした看護師ナイチンゲールの功績を紹介します。			

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容					該当箇所	配 当 時 数
	2 内容				3 内容の 取扱い		
	(1) 英語 の特徴や きまり	(2) 情報 を整理し ながら考 えなどを 形成し, 英語で表 現したり 伝え合っ たりする こと	(3) 言語活動及び言語 の働き				
			①	②			
Pre-Lesson	ア・イ・ ウ	ア・イ・ ウ	ア	ア(ア), イ(イ)(ウ) (オ)	○	pp.8-9	2
Lesson 1	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ	イ(ア)・	ア(イ),	○	pp.10-17	5
Lesson 2			ウ(ア)・	イ(ア)(ウ)		pp.20-27	5
Lesson 3			エ(ア)・	ア(イ),		pp.30-39	6
			オ(ア)・	イ(ア)(ウ)		pp.42-51	6
Lesson 4			カ(ア)	ア(ア), イ(ア)(ウ) (エ)(オ)		pp.56-67	6
Lesson 5	ア (ア)(ウ), イ(ア)(ウ) (オ)	ア(イ), イ(ア)(ウ) (エ)(オ)					
Reading 1	ア・イ・ ウ	ア・ウ	イ(ア)・ ウ(ア)・ エ(ア)・	イ(ア)(イ) (ウ)(オ)	○	pp.70-75	6
Lesson 6	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ	イ(イ)・	ア	○	pp.78-89	7
Lesson 7			ウ(イ)・	ア(ア)(イ), イ(ウ)		pp.92-103	7
Lesson 8			エ(イ)・	ア(イ), イ(ウ)(エ) (オ)		pp.106-117	7
			オ(イ)・				
			カ(ア)・				
			カ(イ)				
				ア(イ), イ(ア)(ウ)			

				(オ)			
Lesson 9				ア(イ), イ(ウ)(エ) (オ)		pp.120-131	8
Lesson 10				ア(ア), イ(ア)(ウ) (エ)(オ)		pp.134-145	8
Reading 2	ア・イ・ ウ	ア・イ・ ウ	イ(ア)・ ウ(ア) オ(ア)・ カ(ア)	イ(ア)(イ)	○	pp.148-153	7
Let's Listen 1	ア・ウ	ア	イ(ア)	ア(ウ), イ(ア)(エ) (オ)	○	p.18	2
Let's Listen 2	ア・ウ	ア	イ(ア)	ア(ア), イ(エ)(オ)	○	p.52	2
Communication 1	ア・イ・ ウ	ア・ウ	イ(ア)・ エ(ア)	ア(ウ), イ(ウ)	○	p.19	2
Communication 2	ア・イ・ ウ	ア・ウ	イ(ア)・ エ(ア)	ア(ウ), イ(ウ)(オ)	○	p.104	2
Word Box 1	ウ					pp. 28-29	1
Word Box 2						pp. 54-55	1
Word Box 3						pp. 68-69	1
Word Box 4						pp. 90-91	1
Word Box 5						pp.154-155	1
Getting the Necessary Information	ア・ウ	ア・イ	エ(ア)	ア(ウ)	○	p.105	2
エッセイライティ ング	ア・イ・ ウ	ア・イ	ウ(イ)・ カ(イ)	ア(ア)	○	p.132	2
文法のまとめ1	ウ・エ					pp.40-41	2
文法のまとめ2						pp.76-77	2
文法のまとめ3						pp.118-119	2
文法のまとめ4						pp.146-147	2
Extra Target 1	ウ・エ					p.53	1
Extra Target 2						p.133	1
合計 107 時間							